



大規模災害時の 通信手段の確保は 「今後の拡充に鋭意努めていく」

竹内 正明 議員



議員 東日本大震災の際に見られたように、大規模な災害が発生すれば、通信障害や停電などにより、一定期間、固定電話や携帯電話は利用できないことが考えられる。より確実な通信手段の確保が重要だが、戸田市における現状はどうか。

危機管理監 戸田市で

は、災害時の通信手段として、防災用移動無線の固定系を63局、移動型無線機145台を運用している。これらの無線設備は、非常時にも高い信頼性を有する通信手段であると認識している。今後、固定系無線局の5カ所に、災害対策本部と通話できるアンサーバック装置を設置するとともに、災害時にもつながりやすいとされているPHSの通話機を出先機関

や避難所指定職員に配備していく計画である。今後は、災害時の情報伝達手段の拡充に鋭意努めていく。
議員 情報収集や通信手段の確保のため、タクシー会社と協定を結ぶのはどうか。
危機管理監 近隣市の取り組みを参考に研究していく。

議員 公用車にドライブレコーダーを搭載し、防犯などに役立ててはどうか。
財務部長 防犯、交通事故の抑止効果も期待できる。今後、先進市の事例や、警察署等の意見を聞きながら調査研究していく。



▲公用車に搭載されたドライブレコーダー (提供: 埼玉県東浦市)

防災対策

早急に難病患者の 情報を共有すべき 「今後、情報提供を検討する」

三輪なお子 議員



議員 要援護者名簿に難病患者は含まれないのか。市の考えは。
危機管理監 難病患者

議員 ①福祉避難所の運営、障害に対する支援は②福祉避難所の新設・増設の計画はあるか。

危機管理監 ①福祉避難所は長期的に滞在するものでなく、避難者の適切な受け入れ先を調整するために一時的に滞在する施設②今後、福祉施設の新設・増設が計画される際などに協定締結に努力する。
議員 アレルギード対応の非常食の用意は。
危機管理監 10万8000食分の備蓄がある。そのうち、おおよそ1万



6000食が対応できる。

認知症対策

議員 軽度認知障害を早期発見するための脳の健康チェックテストを導入してはどうか。
福祉部長 今後、先進市の実績等も参考にしながら、現行のチェックリストに追加可能かどうか研究する。

その他の質問

Q 戸数にかかわらず、新設集合住宅におけるごみ集積所の設置に関する衛生自治会長と事前の協議を促す対策は。
A 業者に対し、市や地域との協議方法に関してホームページ等を活用し、周知徹底を図る。

婚活支援で、にぎやかに 地域活性化を

「支援は有効、関係部局と検討する」

三浦 芳一 議員



議員 少子化対策として、市を挙げての「婚活支援」が大事と考えられる。にぎやかなまちづくり、地域活性化のために推進してはどうか。
総務部長 婚姻率の低下は、男女の出会いの機会の減少、就業率や平均年収の低下、出産・育児等、多くの要因がある。新たな対策と

して結婚に踏み切れない若年層への支援は有効と考える。今後、関係部局と検討する。
議員 企業戦士の地域デビューは難しく、その道筋を行政が担うべきと考える。団塊世代・高齢者の持つ経験、人間力を生かす対応策を、市はいかに検討していく考えか。
議員 企業戦士の地域デビューは難しく、その道筋を行政が担うべきと考える。団塊世代・高齢者の持つ経験、人間力を生かす対応策を、市はいかに検討していく考えか。

総務部長 防災・防犯・福祉・教育・コミュニティ・生きがいが対策など多岐にわたる。団塊世代の活動支援に特化した専門部会などにより、具体的な支援策を検討していく。
議員 第4次総合振興計画の「幸せを実感できるまち」を目指し、少子高齢化を見据えて、若者の支援と、高齢者が活躍できる場づくりの推進を望むが、市長

の考えを伺う。
市長 市民がいきいきと活動し、活躍できる場づくりは、市の総合力を高めることとなる。自治基本条例制定に取り組み、市民が協働して地域づくりを進めやすい体制整備の推進を図る。



▲清掃ボランティア活動 (提供: シルバー村センター)

安心・安全

救急医療情報キットを アレルギードで心配の方にも 「希望者にはすべて申請・配布する」

手塚 静枝 議員



議員 希望する高齢者や障がい者等に配布されている「救急医療情報キット」の配布対象者を、食物アレルギー

等で健康上、心配のある世帯まで拡大しては。また、対象者要件を希望する市民に配布します」と、わかりやすい文言に変更しては。
福祉部長 これまでと



議員 キット情報の更新のお知らせ、外出時の携帯用情報カードの配布、停電時でもわかる蛍光シールの作成、配布場所の拡大も積極的に検討を。
福祉部長 情報キットの目的は、救急時に個

投票率向上対策を

議員 現在の投票区域の有権者数にばらつきが見られる。投票所や区域を、世帯・人口の地域変化に対応させる必要はないか。また、大字美女木地域に選挙ポスター掲示板の設置要望があるがどうか。

行政委員会事務局長

投票区域の見直しを検討中で、投票所も含めて抜本的な対応をしていく。メモ持参は公職選挙法上制限はない。メモ持参の考え方は。議員 国政選挙時の期日前投票所の開設を、庁舎同様早期に実施したい。